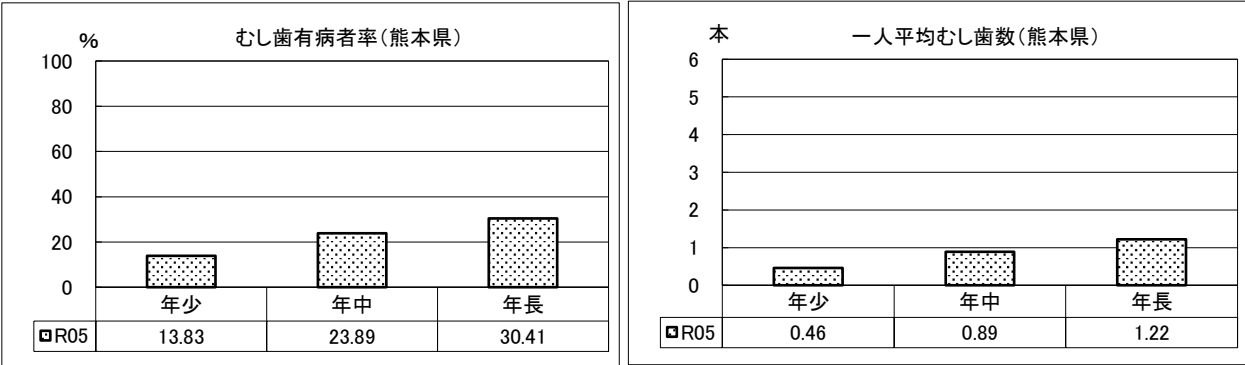


4 歯科疾患罹患状況(令和5年度)

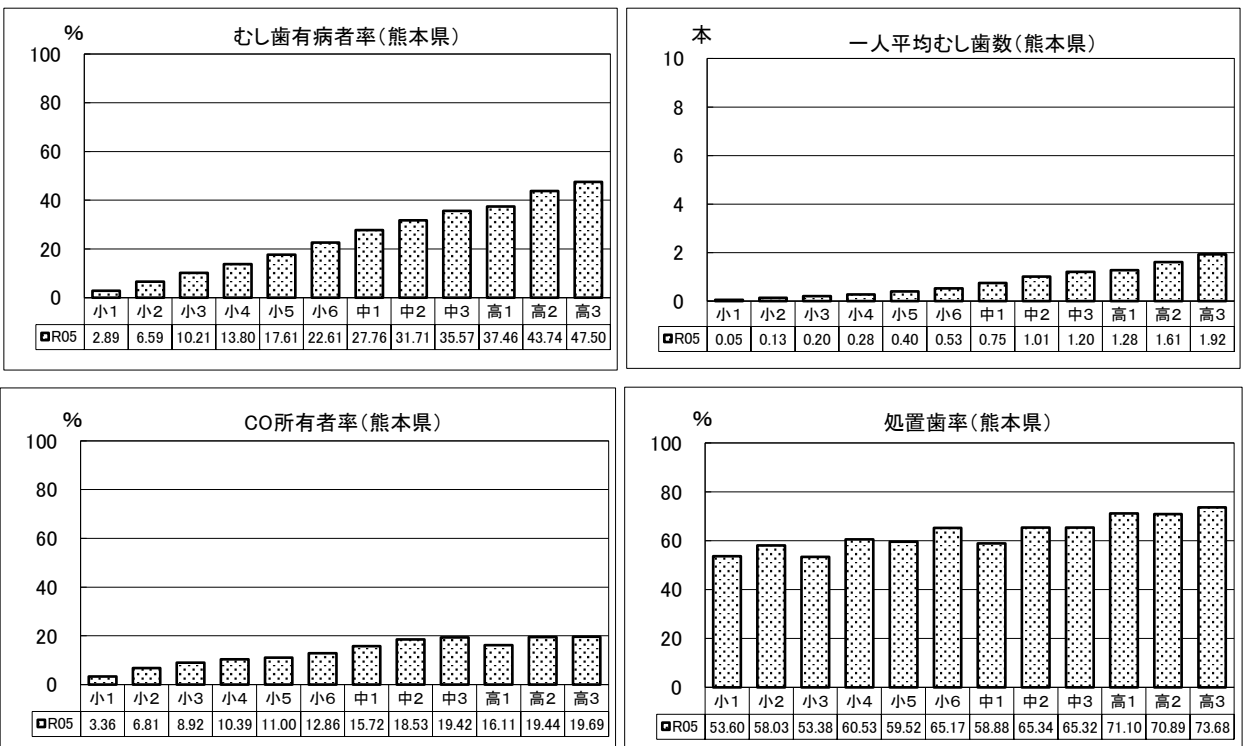
(1) 熊本県

① 乳歯のむし歯の状況



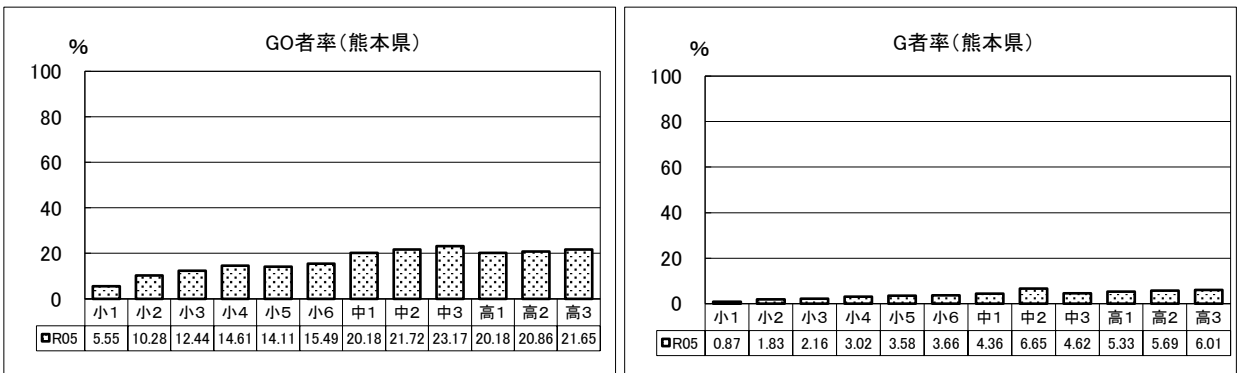
保育所・幼稚園児のむし歯有病者率、一人平均むし歯数は、年齢とともに増加している。

② 永久歯のむし歯の状況



むし歯有病者率及び一人平均むし歯数は年齢の増加とともに増加傾向にある。また、処置歯率は50%~70%台になっている。

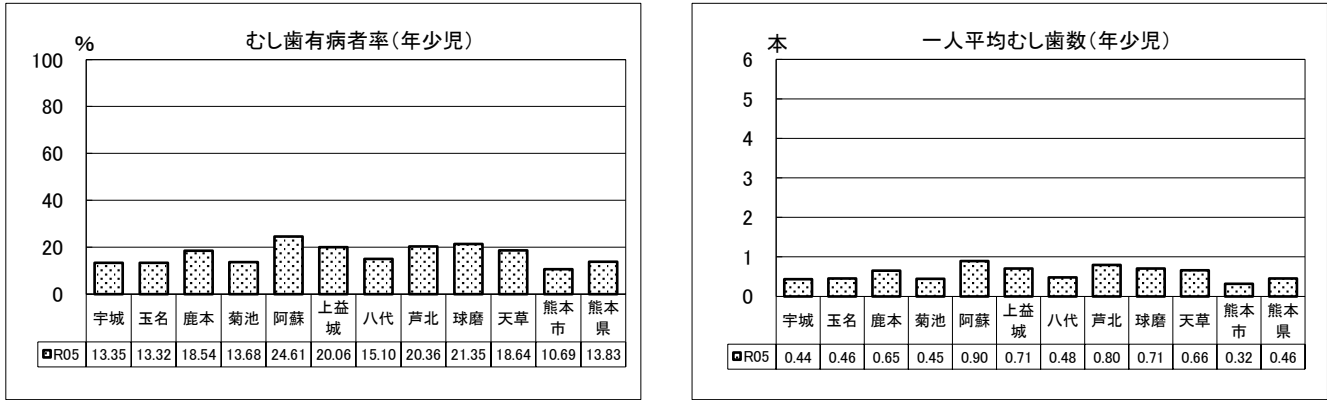
③ 歯肉炎の状況



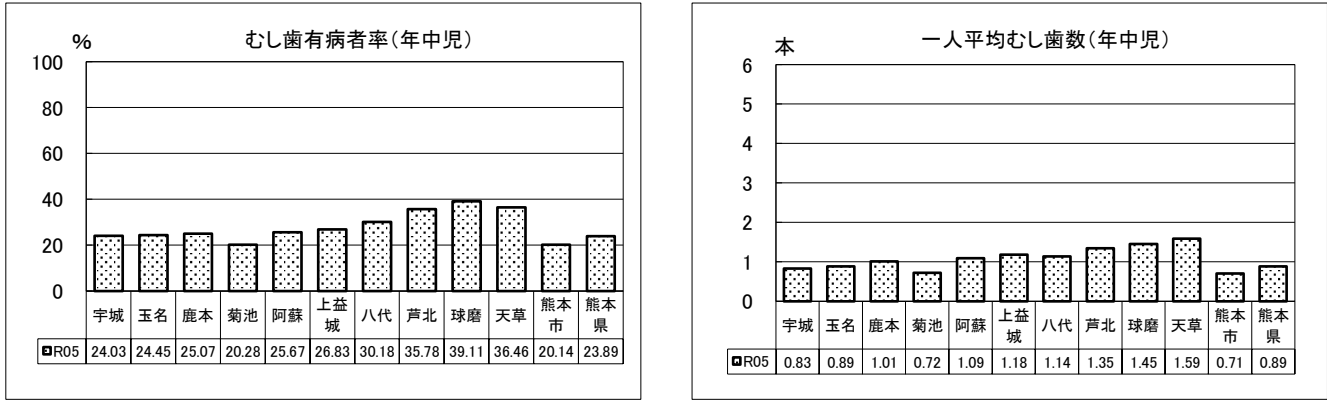
GO者率及びG者率は年齢の増加とともに増加傾向にある。かかりつけ歯科医をもつことを普及し、早期受診を促す必要がある。

④むし歯の状況（圏域）

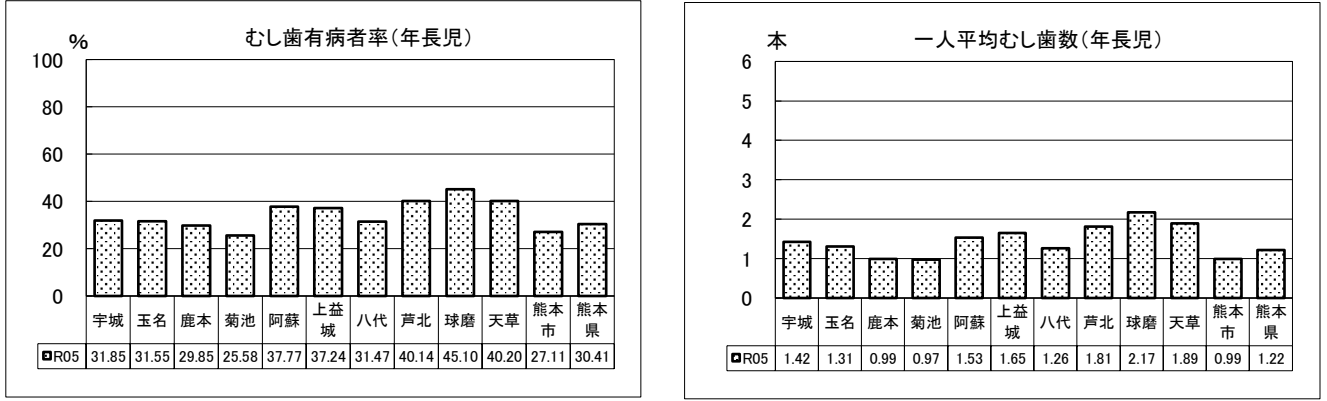
年少児（乳歯）



年中児（乳歯）

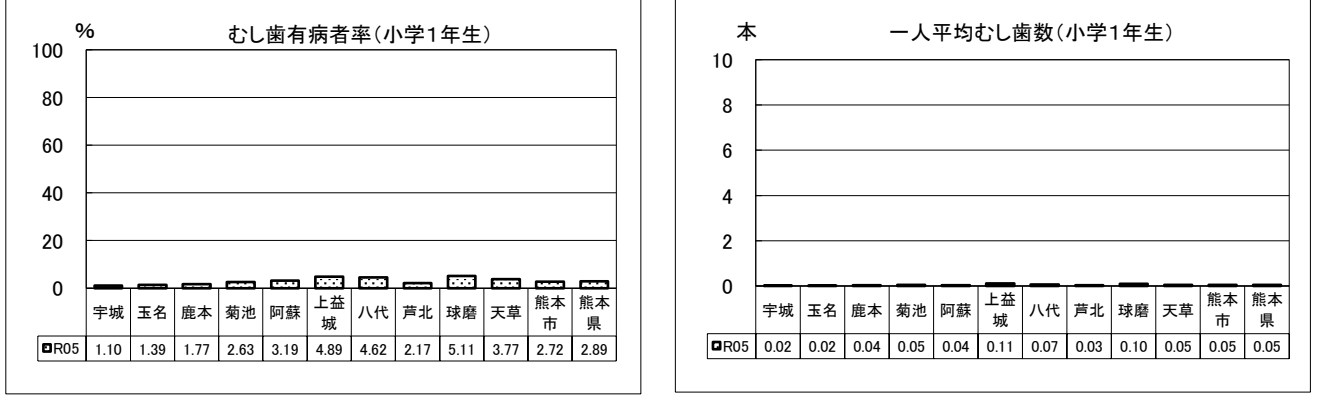


年長児（乳歯）

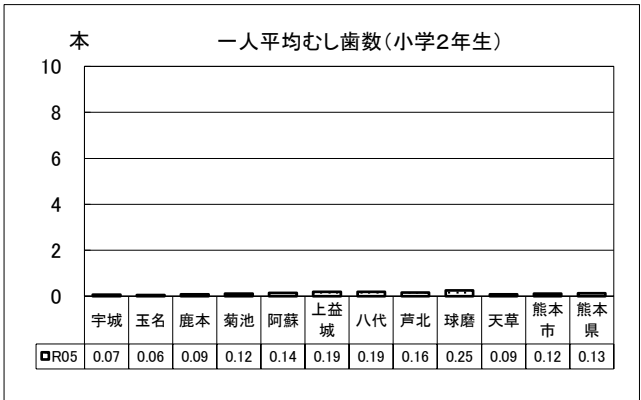
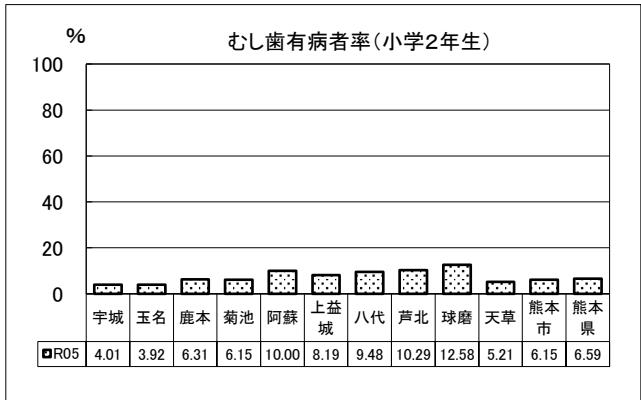


保育所・幼稚園児等のむし歯有病者率、一人平均むし歯数は、年齢とともに増加しており、年少から年中にかけて増加傾向が著しい。また、圏域格差が認められ、年長児の一人平均むし歯数は、最少の熊本市では0.99本、最多の球磨では2.17本というように、2倍以上の差が生まれている。

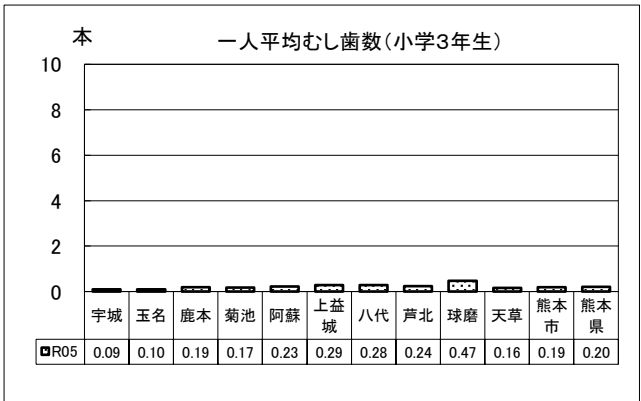
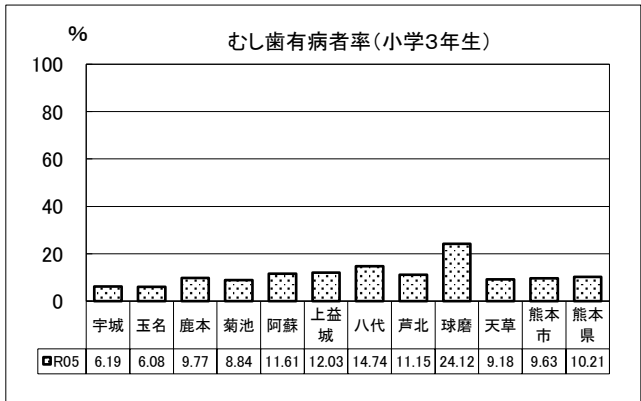
小学1年生（永久歯）



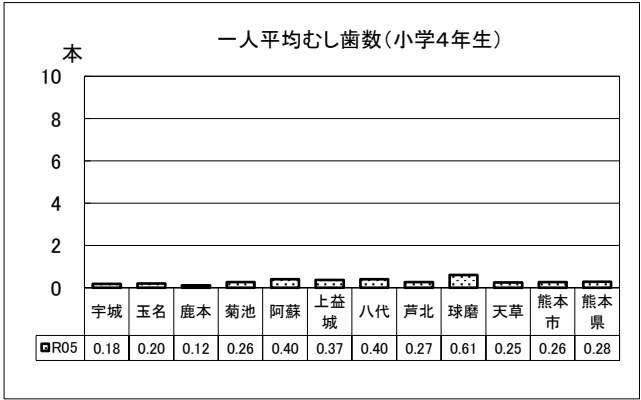
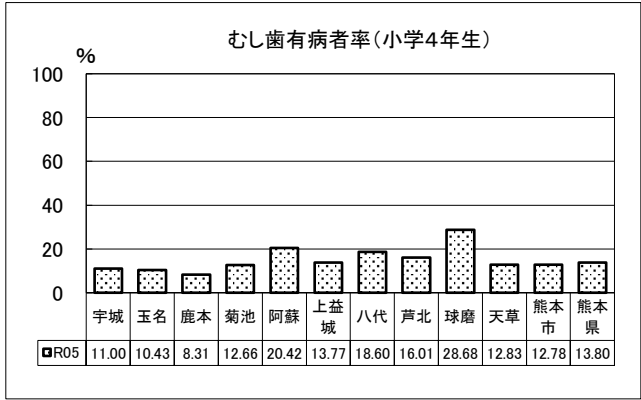
小学2年生(永久歯)



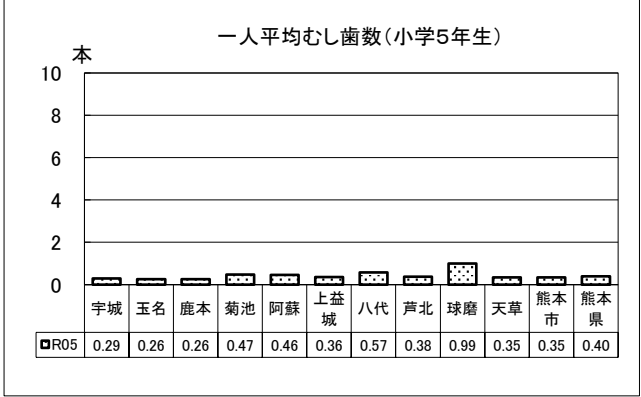
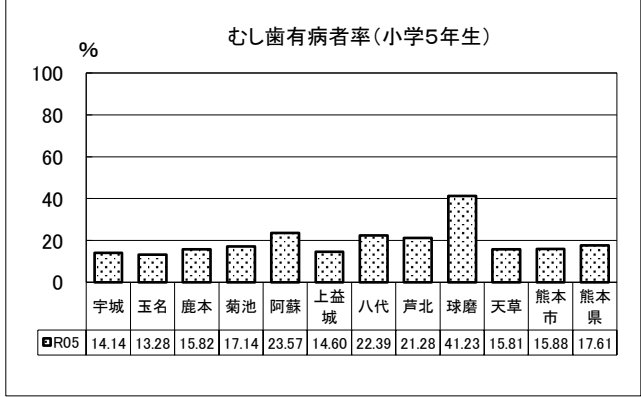
小学3年生(永久歯)



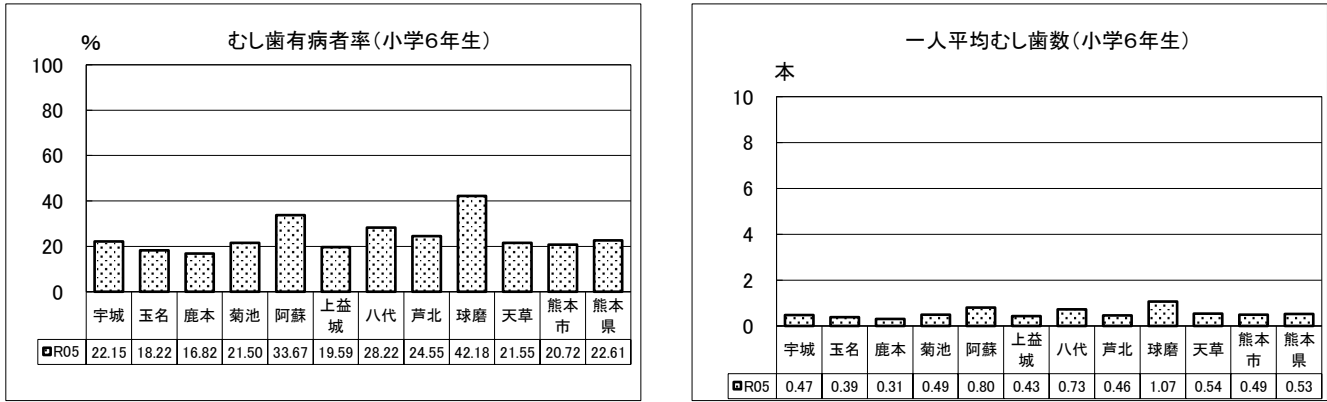
小学4年生(永久歯)



小学5年生(永久歯)



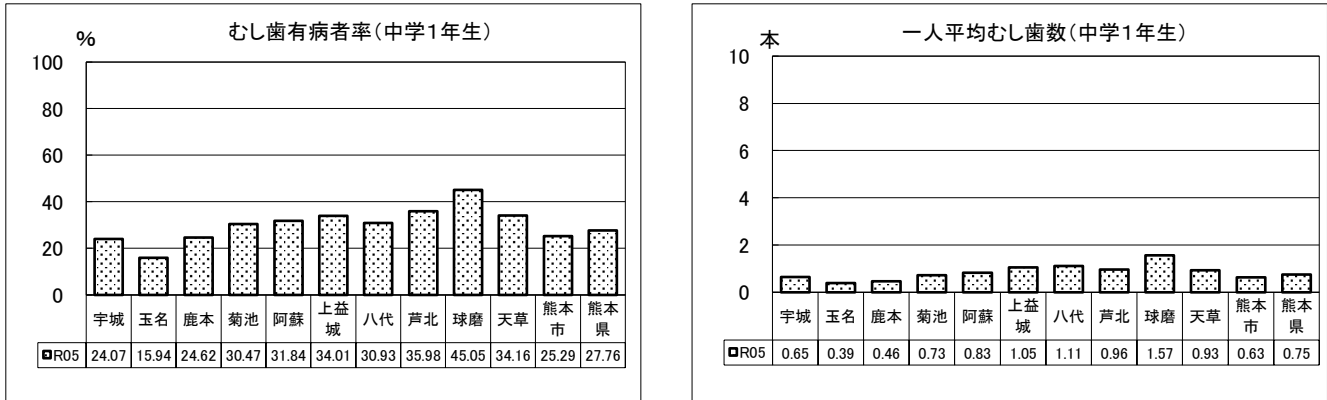
小学6年生(永久歯)



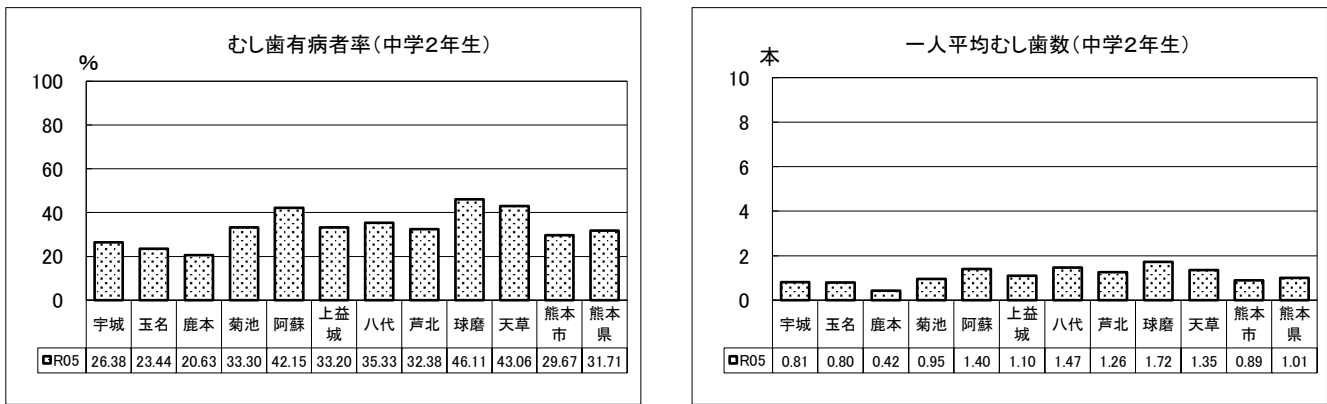
小学生のむし歯有病者率及び一人平均むし歯数は、年齢の増加とともに増加しており、4年生から6年生にかけて増加傾向が著しい。

また、小学6年生のむし歯有病者率が県平均22.61%以上の地域は、玉名、菊池、阿蘇、上益城、八代、芦北、球磨、天草地域となっている。

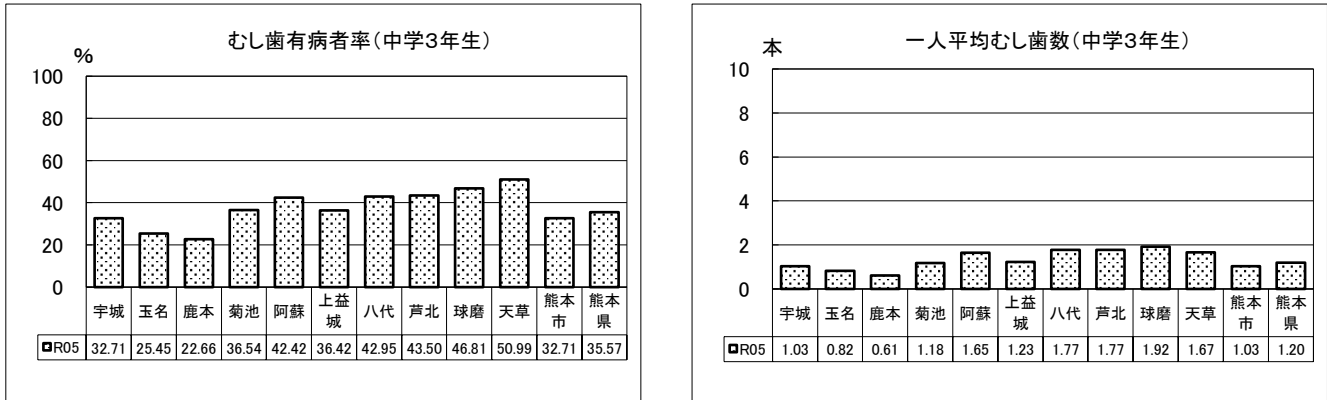
中学1年生(永久歯)



中学2年生(永久歯)

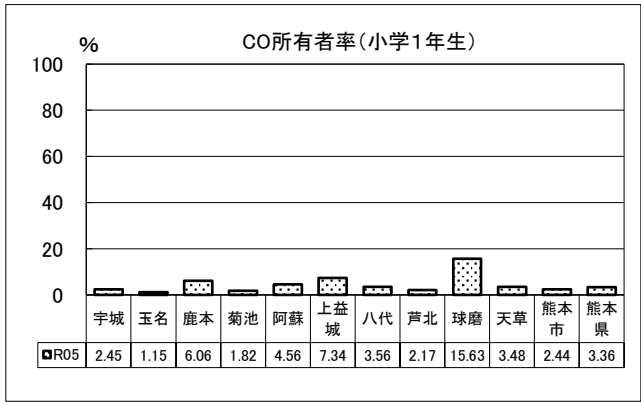


中学3年生(永久歯)

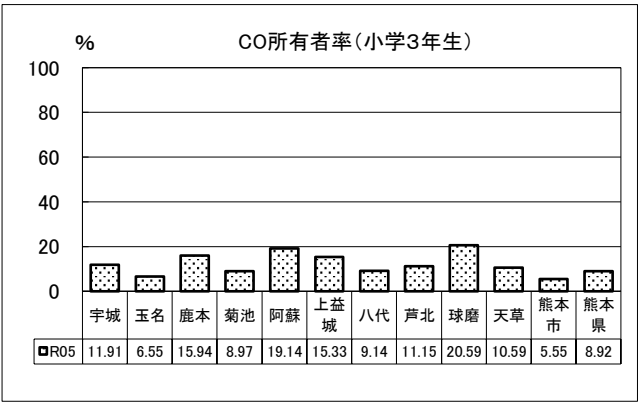


中学1年生のむし歯有病者率が県平均27.76%以上の地域は、菊池、阿蘇、八代、芦北、球磨、天草地域となっている。

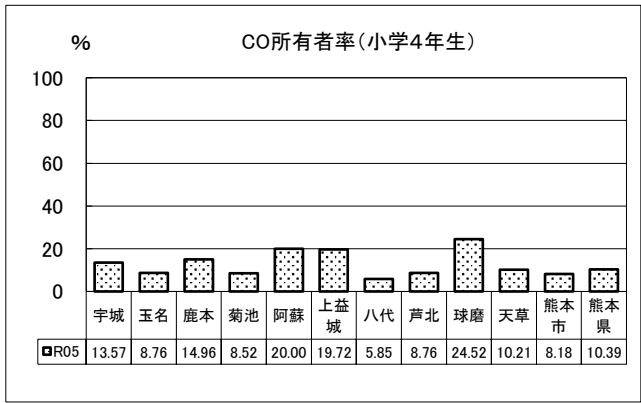
小学1年生(CO)



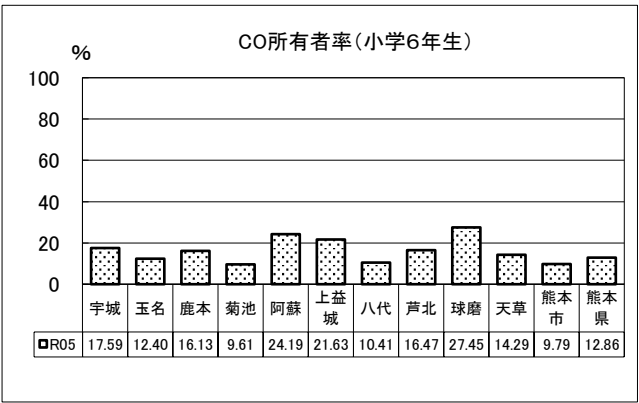
小学3年生(CO)



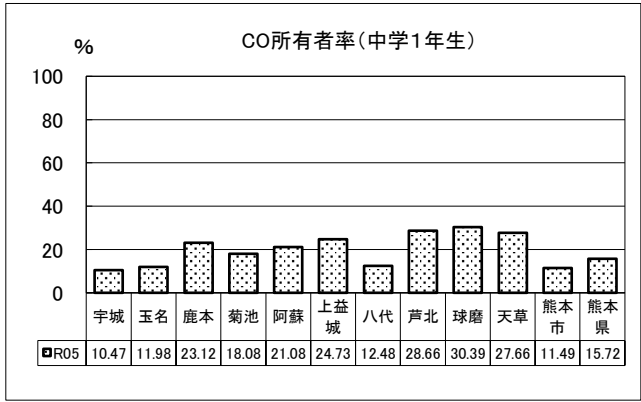
小学4年生(CO)



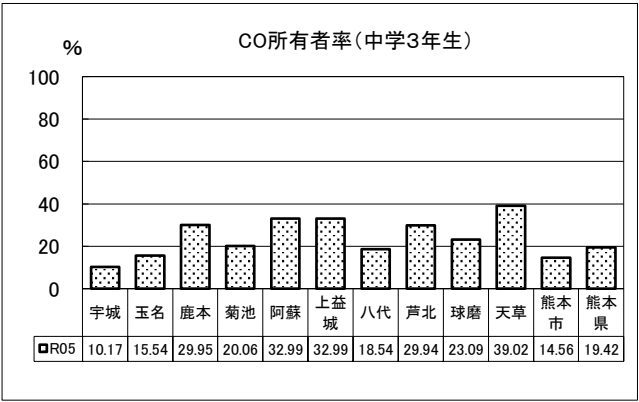
小学6年生(CO)



中学1年生(CO)



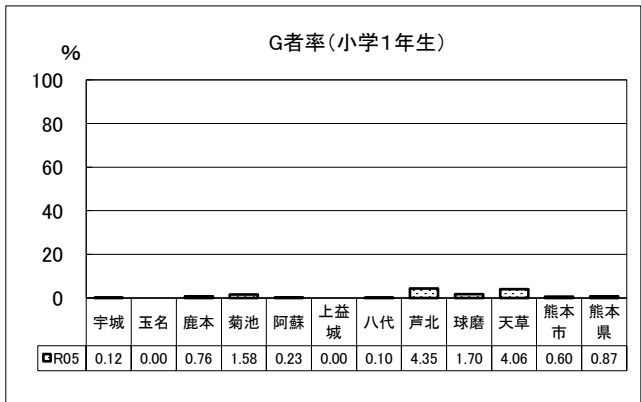
中学3年生(CO)



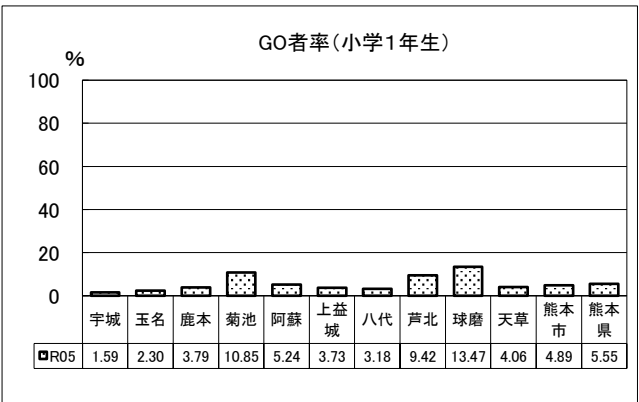
CO所有者率は、年齢の増加とともに増加傾向にあり、小学6年生で12.86%、中学1年生15.72%、中学3年生19.42%となっており、CO所有者に対して、COからGに移行しないよう、歯科保健及びむし歯の予防処置が必要と考えられる。

⑤歯肉炎の状況(圏域)

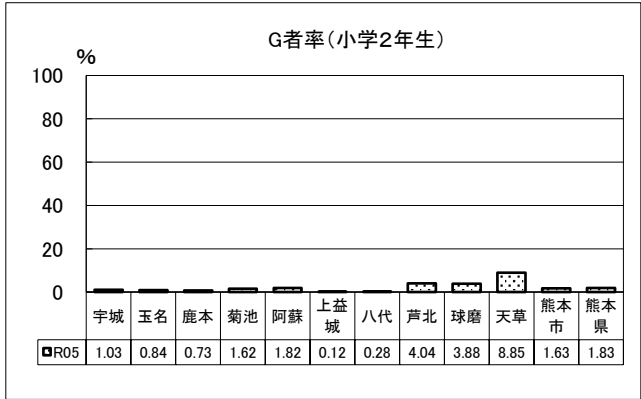
小学1年生(G)



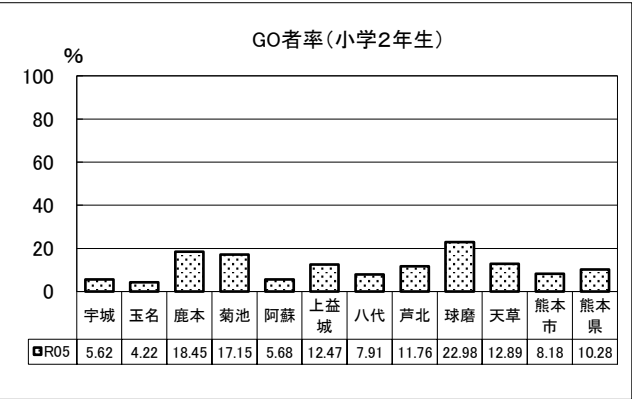
小学1年生(GO)



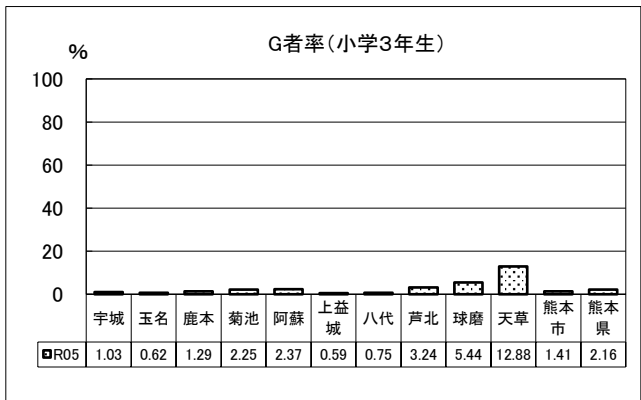
小学2年生(G)



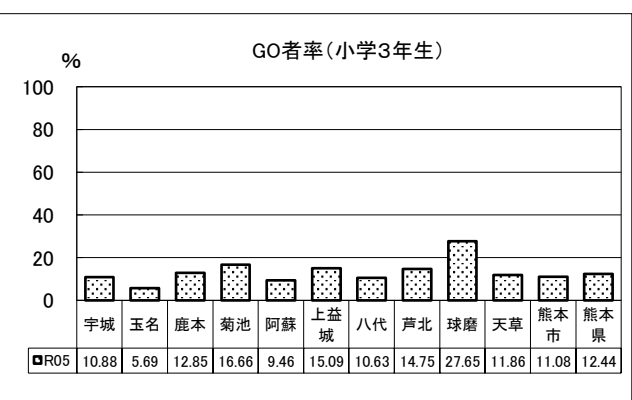
小学2年生(GO)



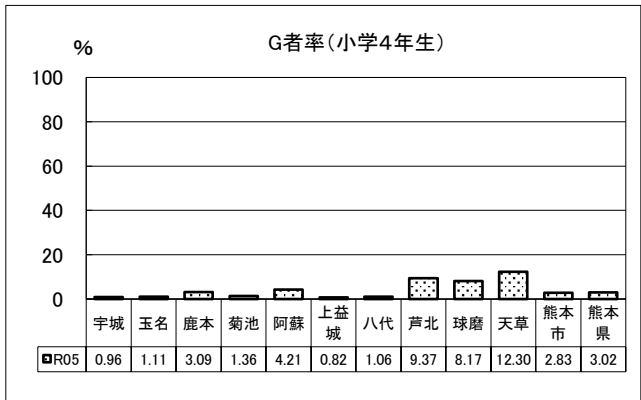
小学3年生(G)



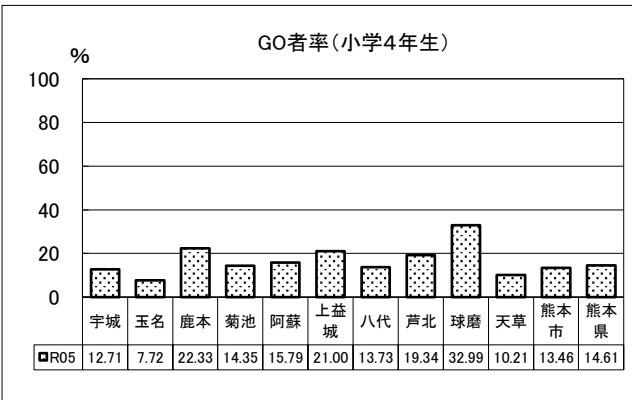
小学3年生(GO)



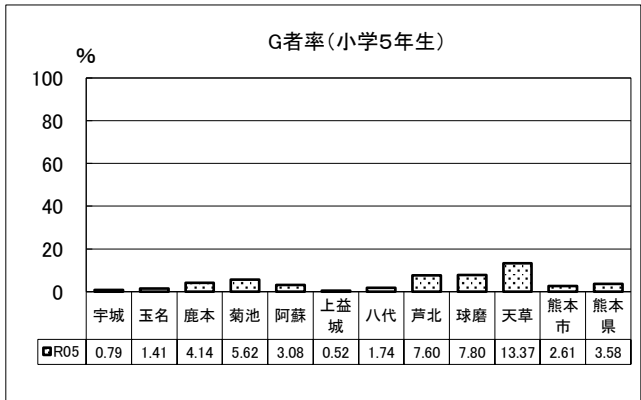
小学4年生(G)



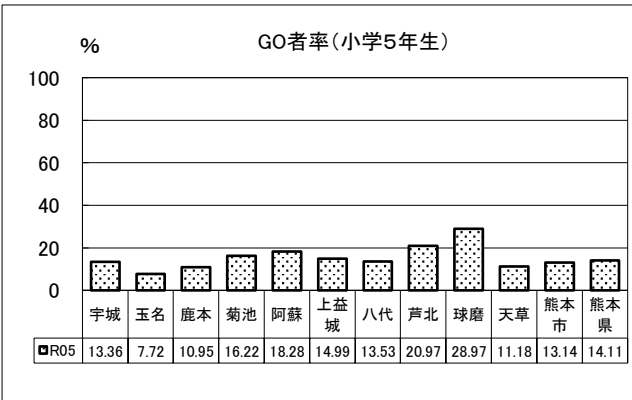
小学4年生(GO)



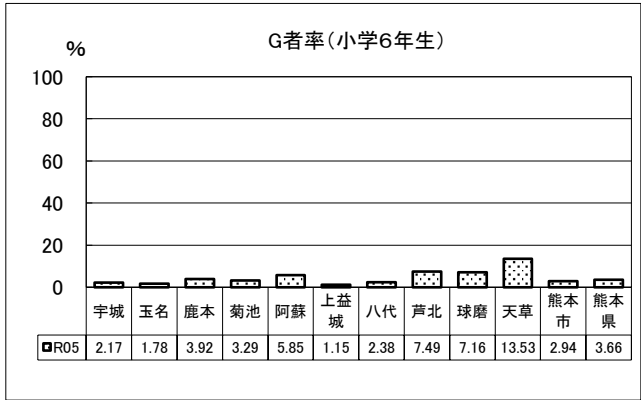
小学5年生(G)



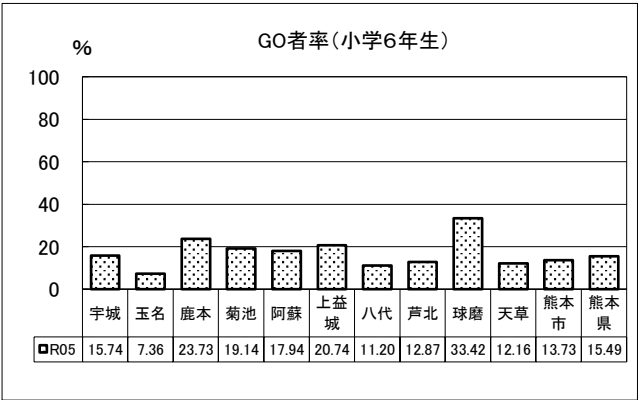
小学5年生(GO)



小学6年生 (G)

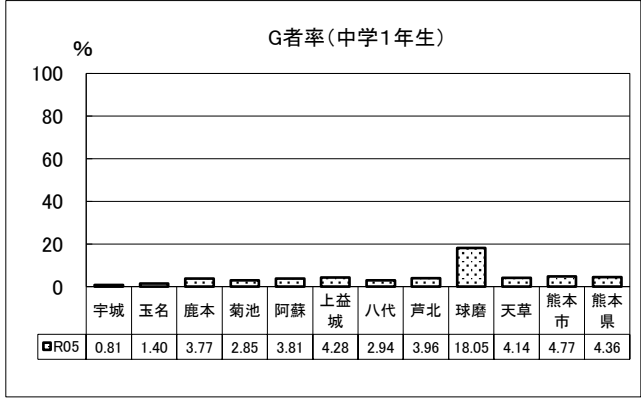


小学6年生 (GO)

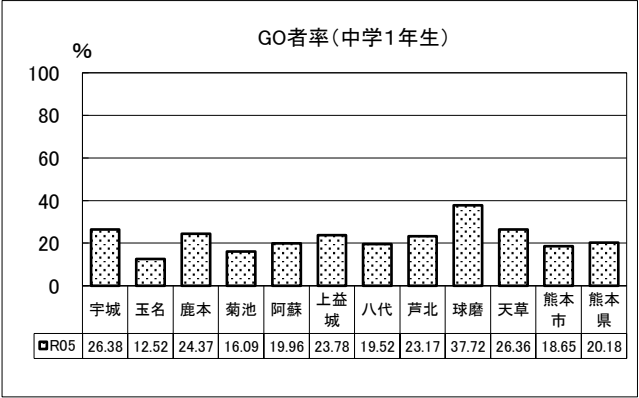


G者率は年齢の増加とともに増加傾向にあり、小学6年生のG者率が県平均3.66%以上の地域は、阿蘇、芦北、球磨、天草地域となっている。GO者及びG者に対する個別清掃指導による歯肉炎症の改善が必要と考えられる。

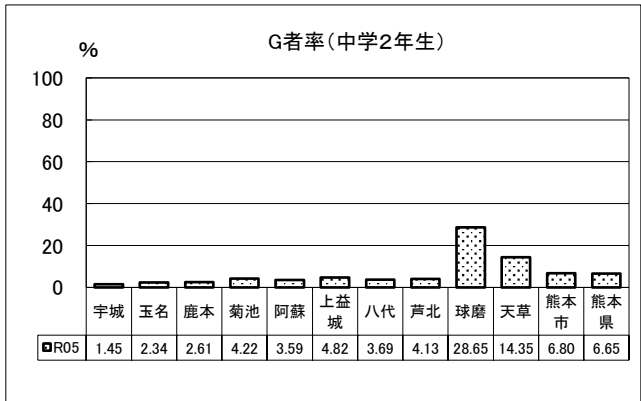
中学1年生 (G)



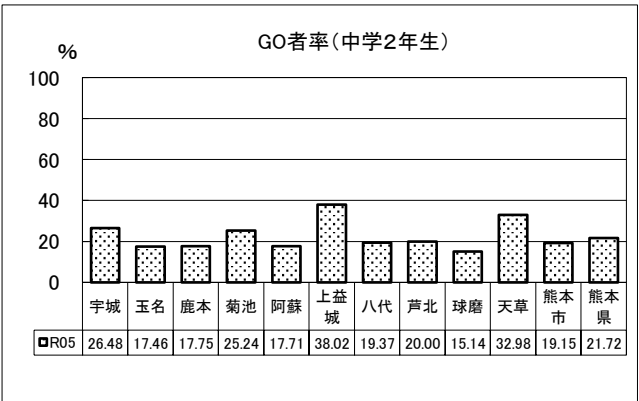
中学1年生 (GO)



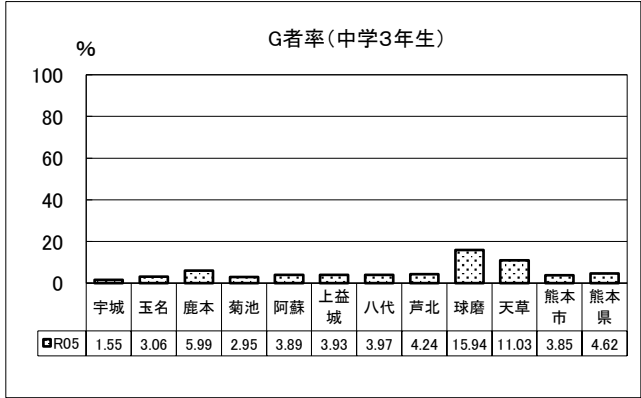
中学2年生 (G)



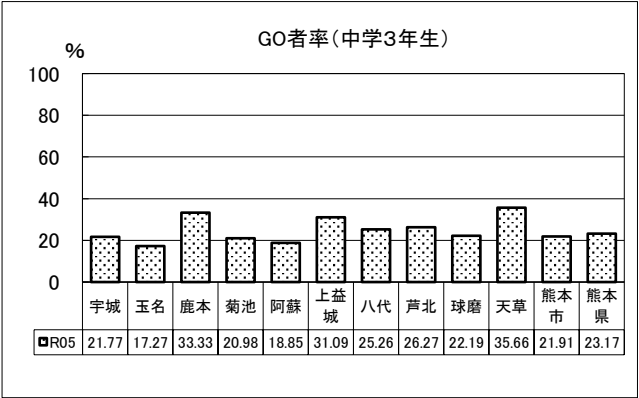
中学2年生 (GO)



中学3年生 (G)



中学3年生 (GO)



中学1年生のG者率が県平均4.36%以上の地域は、阿蘇、上益城、芦北、球磨、天草地域となっている。GO者及びG者に対する個別清掃指導による歯肉炎症の改善が必要と考えられる。